# 2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

## 2　問1（4点）

| vote |
|---|

答え: vote

・日本語のメモ「いちばん好きな写真に**投票**してください」に対応。

・"you can ( vote ) for your favorite one"（**vote for ～**＝「～に投票する」）。for が直後にあることも手がかり。

・choose は「選ぶ」で、直後の for と結びつかないので不可。

## 2　問2（A）（3点）

| イ（taken） |
|---|

答え: イ (taken)

・"They were ( taken ) by our members this year."＝「それらは今年、私たちの部員によって**とられました**」。

・**受動態（be動詞＋過去分詞）**。take の過去分詞は taken。日本語のメモ「部員が今年**とった**写真」に対応。

・held は2行目の "will be held" で使われているが、写真は「開かれる」ものではないので不可。

## 2　問2（B）（3点）

| エ（to see） |
|---|

答え: エ (to see)

・"Please come ( to see ) our photos!"＝「私たちの写真を**見に**来てください」。

・**to ＋ 動詞の原形**の不定詞（副詞的用法）で、来る**目的**を表す。日本語のメモ「見に来てほしい」に対応。

・saw（過去形）・seen（過去分詞）・seeing は come のあとに置けない。

## 2　問2（C）（3点）

| エ（December） |
|---|

答え: エ (December)

・日本語のメモ「いちばん人気の写真は、**12月4日**から学校の玄関にかざられます」に対応。

・"will be shown at the school entrance from ( December ) 4"。

・展示会は11月13日～15日なので、November と混同しないこと。

## 2　問3（4点）

| （解答例）I think you should go on November 13. Our members will explain the photos from 4 p.m., so you can learn about them. Also, we can see the photos together. |
|---|

**解答例:** I think you should go on November 13. Our members will explain the photos from 4 p.m., so you can learn about them. Also, we can see the photos together.
**訳:** 11月13日に行くのがよいと思います。午後4時から部員が写真について説明するので、写真のことが分かります。それに、いっしょに写真を見ることもできます。
**採点ポイント:**
・語群（explain / because / together）から1語以上使用
・1文目＝すすめる日、2文目以降＝その日をすすめる具体的な理由
・全体で2文以上
・【日本語のメモ】の内容（13日の午後4時から説明、15日までの会期など）と矛盾しないこと
・文法・スペルの正確さ

## 3　問1（3点）

| B |
|---|

答え: B
・補う文: **So I asked him to practice with me.**（そこで、ぼくは彼にいっしょに練習してくれるようたのみました）
・この文の **him** は Ken。「So（そこで）」は、直前に理由となる出来事がある文につながる。B の前は「Ken の古いくつの話を聞いておどろいた」なので、「そこでいっしょに練習してほしいとたのんだ」とつながり、直後の "Since April, I have practiced ... with Ken" にも自然につながる。
・A に入れると、him が指す人物がまだ登場していないので不適切。C に入れると、すでに毎朝 Ken と練習している話のあとで「たのんだ」となり、時間の順序が合わない。
・**ask 人 to 〜**＝「人に〜するようたのむ」（不定詞）。

## 3　問2（4点）

| 2番目=エ（taught）・4番目=オ（how） |
|---|

答え: 2番目 = エ (taught), 4番目 = オ (how)
・正しい語順: **who taught me how to** → "He is a boy **who taught me how to** shoot."
・1: who (イ) / 2: taught (エ) / 3: me (ア) / 4: how (オ) / 5: to (ウ)
・**主格の関係代名詞 who**＋動詞：a boy who taught 〜 ＝「〜を教えてくれた男の子」。who は直前の人（a boy）を説明するので、a boy のすぐあとに置く。
・**teach 人 how to 〜**＝「人に〜のしかたを教える」（疑問詞＋不定詞）。
・**訳:** 彼は、ぼくにシュートのしかたを教えてくれた男の子です。

## 3　問3（3点）

| イ（practiced） |
|---|

答え: イ (practiced)
・"Since April, I **have practiced** shooting with Ken every morning."
・**現在完了（have ＋ 過去分詞）**。「Since April（4月から）」は、過去から今までの**継続**を表す目印。practice の過去分詞は practiced。
・have のあとに原形 practice・不定詞 to practice・-ing 形 practicing は続けられない。
・**訳:** 4月からずっと、ぼくは毎朝 Ken とシュートの練習をしてきました。

### 3　問4（4点）

| was chosen |
|---|

答え: was chosen

・本文 "Last month, our coach **chose** me to play in the city tournament."（能動態）を、Sota を主語にした**受動態**に書きかえる。

・**受動態＝be動詞＋過去分詞**。主語が Sota（1人）で過去の文なので、be動詞は was、choose の過去分詞は chosen。

・by his coach が後ろにあることも、受け身だと判断できる手がかり。

・**訳:** Sota は先月、コーチによって市の大会に出る選手に選ばれました。

### 3　問5（4点）

| イ |
|---|

答え: イ

・第2段落 "Our coach said to me, 'You need to practice more,'" と一致。

・ア: I was the **smallest** player とあるので不一致。

・ウ: "I have used these shoes for **three years**" なので、three months は不一致。

・エ: 毎朝練習する相手は coach ではなく **Ken**。

### 4　問1（4点）

| 毎週日曜日に買い物リストをつくり、必要な食べ物だけを買うこと。 |
|---|

答え例:「（ホストマザーが）毎週日曜日に買い物リストをつくり、必要な食べ物だけを買うこと。」

・下線部①の That は、直前のLucasの発言 "My host mother makes a shopping list every Sunday, and she buys only the food we need." の**内容全体**を指す。

・**採点ポイント:**「買い物リストをつくる」「必要な食べ物だけを買う」の2要素。「毎週日曜日」も入っているとよい。

・直後の "helps us waste less food（食べ物をむだにしにくくなる）" とつながるかを確かめる。

### 4　問2（4点）

| 2番目=オ（helps）・4番目=エ（use） |
|---|

答え: 2番目 = オ (helps), 4番目 = エ (use)

・正しい語順: **that helps people use food** → "Do you know the app **that helps people use food** before it gets old?"

・1: that (ウ) / 2: helps (オ) / 3: people (イ) / 4: use (エ) / 5: food (ア)

・**主格の関係代名詞 that**＋動詞：the app that helps 〜 ＝「〜を助けるアプリ」。that は the app（もの）を説明するので app の直後に置く。

・**help 人 ＋ 動詞の原形**＝「人が〜するのを助ける」。

・**訳:** 食べ物が古くなる前に、人々がそれを使うのを助けてくれるアプリを知っていますか。

**4　問3**（3点）

| ア |
|---|

答え: ア

・Yuna の最初の発言 "I watched a TV program about food waste last night." と一致。

・イ: 買い物リストをつくるのは Lucas ではなく**ホストマザー**。

・ウ: "We had some vegetables that we couldn't use" なので不一致。

・エ: "Many families buy too much food" とあり、むしろ多くの家庭が食べ物を捨てていると言っている。

**4　問4**（3点）

| イ（cheaper） |
|---|

答え: イ (cheaper)

・空欄のあとに **than**（〜より）があるので、**比較級**が入る。

・"it is ( cheaper ) than the other one"＝「もう1つのものより安い」。cheap の比較級は cheaper。

・cheap（原級）・cheapest（最上級）は than の前に置けない。cheaply は副詞で、is のあとには合わない。

**4　問5**（4点）

| イ |
|---|

答え: イ

・Lucas の発言 "Its date is close. But we can still eat it for a few days." と一致。

・ア: 赤いシールのヨーグルトは other one より **cheaper**（安い）。

・ウ: Takumi がヨーグルトを買ったとは書かれていない。

・エ: "the store will throw away **less** food" は「捨てる食べ物が**減る**」であり、「まったく捨てない」ではない。

**4　問6**（3点）

| ア |
|---|

答え: ア

・Yuna の "Would you like to try some?"（ちょっと食べてみませんか）は、相手にすすめる表現。「はい、お願いします」と受ける **Yes, please.** が自然。

・直後の Yuna の "How is it?"、Takumi の "It's delicious!" から、Takumi がスープを食べたことが分かる。

・イ: Do you 〜? への答え方なので合わない。ウ: すすめられた側が You can't と言うのは不自然。エ: 相手の不幸な話を聞いたときの返事。

**4　問7**（4点）

| For example |
|---|

答え: For example

・本文の4の Lucas の発言 "We can do small things at home. **For example**, we can make soup with vegetables that are getting old." より。

・**for example**＝「たとえば」。前の文で述べた「小さなこと」の具体例を、あとの文で示している。

・文頭なので For の F は大文字でも小文字でも正答とする。

## 5　問1（3点）

| イ |
|---|

答え: イ

・第2段落 "At first, I was surprised because the trains come on time." と一致。

・ア: カナダでは車で通学し、"I have never used a train every day"。

・ウ: 遅れたのは "two minutes"（2分）。

・エ: 第3段落で、電車の中で電話で話す人はいない（nobody talks on the phone）と言っている。

## 5　問2（3点）

| イ |
|---|

答え: イ

・第4段落 "a girl who was sitting next to me helped me" と一致（**who** は a girl を説明する主格の関係代名詞）。

・ア: "I couldn't read the station names in kanji" なので不一致。

・ウ: 助けられたあと "I was very happy."。

・エ: Daniel の家族は来月カナダから訪ねてくる（will visit）ので、日本に住んでいるわけではない。

## 5　問3（6点）

| （解答例）① I think you should take them to Kawagoe. ② There are many old houses and shops there. Your family can enjoy walking around the town and eating sweet potato snacks. |
|---|

**解答例:** ① I think you should take them to Kawagoe. ② There are many old houses and shops there. Your family can enjoy walking around the town and eating sweet potato snacks.

**訳:** ① 川越に連れて行くのがよいと思います。② そこには古い家やお店がたくさんあります。ご家族は、町を歩いたり、さつまいものお菓子を食べたりして楽しめます。

**採点ポイント:**

・①は I think you should take them to 〜. の形で、場所が1つ書かれている

・②は、その場所をすすめる具体的な理由が2文以上（there is / are 〜, can enjoy 〜ing など）

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ（場所名は日本の地名なら何でもよい）